



まちづくりトピック 1! 2! 3!



1 齋藤主税氏を講師に招き「まちづくり講演会」を開催しました！



9月4日（水）富士市民文化会館（ロゼシアター中ホール）にて、各地区まちづくり協議会役員、町内会長・区長など約400名が参加し、まちづくり講演会が開催されました。

『住民主体の持続可能なまちづくりを目指して！！～一人ひとりの声を次代に繋ぐ～』と題し、今後、各地区で実施する「アンケート調査」について、他市町村の事例を紹介しながら、より有効なものとするための実施手段や活用方法についてのお話がありました。

講演会後のアンケートでは、参加者からアンケート調査への期待と不安の声も聞かれましたが、より良いアンケート調査となるように気を引き締めていく覚悟も感じられました。



「総務省・地域力創造アドバイザー」 ▲
「齋藤 主税（さいとう ちから）氏」

2 はじまります！まちづくりに関する「住民アンケート調査」



目的 次期まちづくり行動計画（令和9年度～13年度）の策定に向け、地域住民の生活実態と住民ニーズを正確に把握し、今後のまちづくり活動に反映するため、町内会・区長会・まちづくり協議会の連名によるアンケート調査を実施します。

対象 中学生以上の住民（実施済みの須津・松野・吉永北地区を除く。）

実施方法 アンケート用紙または電子申請による回答（※各地区で異なります。）

スケジュール R6.10～11月 アンケート内容の検討・用紙印刷
R6.12～R7.1月 アンケート調査実施
R7.1～2月 アンケート回答の集計（※各地区で異なります。）

Point!

ご協力をお願いします！

3 「第2回まちづくり展」を開催します！期間：2月8日～19日



各地区のまちづくり協議会の活動を広く市民の皆さんに周知し、興味や関心を持ってもらうため、第2回まちづくり展を中央図書館展示ホールで開催します。

内容は、各地区協議会の活動の様子や広報誌などの展示を予定しており、期間は2月8日（土）～19日（水）までの12日間です。

お近くにお越しの際はぜひご覧ください！

Check!

▲ 第1回（9月開催）の様子（ロゼシアター）

新 コブタレポート

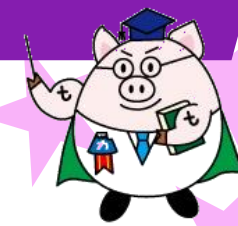
No.26

コブタのまちづくり知恵袋 NewsLetter

今回のコブタレポートは…

部会長交流会レポート、住民アンケート 特集！

まずは、6月～7月にかけて開催した「部会長交流会」のご報告から～！



まちづくり協議会 部会長交流会

部会長交流会とは、まちづくり活動に対する意識の高揚と、部会運営の知識を深めることを目的に、各地区で活動を行う部会長等の役員を対象とした交流会です。

昨年度までは部会機能活性化研修としていましたが、名前を変え、今年度より、まちづくり協議会連合会と共催で実施しました。



会場の様子

① 昨年度の『ふりかえりシート』の集約結果と解説



② 《事例発表》

地区からの事例紹介
各分野における先進的な取組を紹介



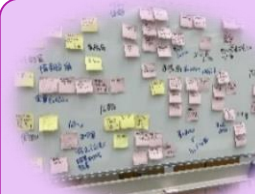
③ 《グループワーク》

各地区の現状から考える…
1. 発表された事例について
2. 富士市の課題について



④ 《提案発表・質疑応答》

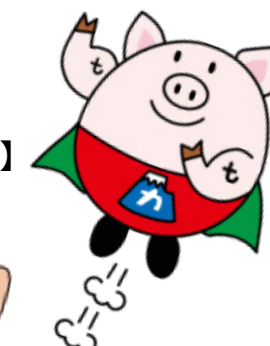
グループワークでの意見・提案発表
事例発表についての質疑応答



6月19日～7月5日まで、8回にわたり開催した部会長交流会は、まちづくり協議会会長と部会長などを対象に、

【青少年育成・子育て】 【文化振興・文化祭】 【安全・防犯・交通】 【防災】
【環境・地域活性化・観光】 【スポーツ・体育祭】 【福祉】 【総務・企画・事務局】
の分野にて実施し、計186名の方にご参加いただきました。

中面は、『部会長交流会』の詳しい内容をお届け



【発行】令和6年11月

【発行者】富士市市民部まちづくり課 富士市永田町1丁目100番地（富士市役所3階）

☎（0545）55-2887 http://www.city.fuji.shizuoka.jp/

【編集者】交流促進部会





部会長交流会 ～各回における事例発表の内容を深掘り～



【6/19 青少年育成・子育て】

子ども会活動が縮小している中で、子ども部会（子ども育成部）の活動を拡大している事例（天間地区）



▲夏休み子ども教室「夏チャレ」の様子

「地域の子どもを地域で育む」観点に立ち、学校や保護者と一体となって夏休み子ども教室を実施した。子どもの居場所づくりとして自習の見守りやレクリエーションを行い、94%の児童が次年も参加したいと回答する事業となった。

【6/26 環境・地域活性化・観光】

富士山と茶畑の景観を活用したまちづくりの事例（大淵地区）

「おおぶちお茶まつり」は、市内外から多くの参加者が集まるイベント。まちづくり協議会と地元の笹葉景観保存会が運営を行う。規模の大きなイベントを作ること多くの苦労があるが、その分やりがいも大きい。

▶「おおぶちお茶まつり」の開会式及びカメラマンの様子



【6/20 文化振興・文化祭】

文化祭と地区のおまつりを統合し、コロナ前より規模拡大している事例（伝法地区）

役員の負担軽減を目的に、文化祭と夏まつりをつにした「わくわくFESTA伝法」を令和5年10月に開催した。初めは、役員や外部から様々な意見があり苦労もあったが、開催後には称賛の声を多くいただき、大成功であった。



「わくわくFESTA伝法」のチラシ▲

【6/27 スポーツ・体育祭】

地域の魅力が詰まったカルタを使った「ロゲイニング」事業を開催している事例（田子浦地区）

「田子浦かるたロゲイニング」は田子浦みなとマラソンの代替行事として始まったスポーツイベント。田子浦令和かるた56内の地区の歴史や伝統を感じさせるスポットのいくつかをチェックポイントとしている。

▶「田子浦かるたロゲイニング」のチラシ及び田子浦令和かるたの詳細



【6/21 安全・防犯・交通】

YouTubeを利用し、啓発活動している事例（丘地区）



▲丘地区まちづくり協議会安全部会公式YouTube「20220924通学路を歩いてみた11」

小学校の通学路を歩き、危険箇所や注意点などを伝える動画を制作した。地区住民に向けYouTube（ユーチューブ）で公開している。動画は、親子でも見ることができ、子どもたちの交通安全を守る行動に結びついている。

【7/4 福祉】

常設型くらし支え合いセンター（広見テラス）を展開している事例（広見地区）

「ふれあいテラス広見」を広見商店街に開設した。活動内容は、日常生活上で支援を必要とする方への生活支援と誰もが立ち寄れる居場所づくり。勉強会を行い組織を立ち上げ本格稼働に至った。



▲「ふれあいテラス広見」前にて



【6/25 防災】

高齢者や障害者など災害時の避難支援のため、個別避難計画を策定している事例（富士南地区）

西宮島区自主防災会は「個別避難計画」の策定にあたり、地震災害を想定した要介護者への対応についての会議や要介護者のケース会議を実施した。避難時に必要な配慮を確認し、理解を深めた。災害時に一人ひとりの状況に合わせた個別の計画となった。

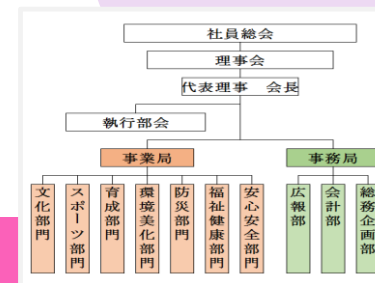


▲西宮島区公会堂の「個別避難計画」に基づく訓練の様子

【7/5 総務・企画・事務局】

指定管理者制度の導入地区における事務局の運営の事例（須津地区）

須津地区の組織は、各部門をまとめる事業局と総務・会計・広報を担う事務局にわけている。また、事業推進会議である執行部会を毎月行い、組織強化に積極的に取り組んでいる。

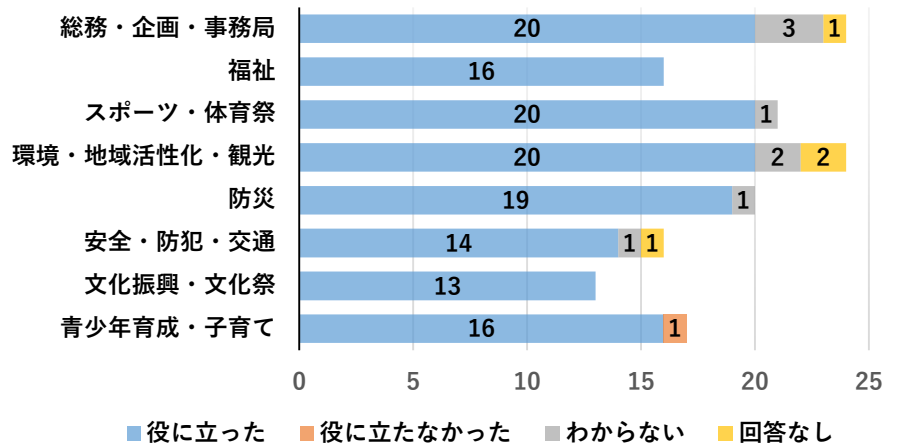


◀令和6年度一般社団法人須津地区まちづくり協議会組織図（一部抜粋）

部会長交流会のアンケート結果

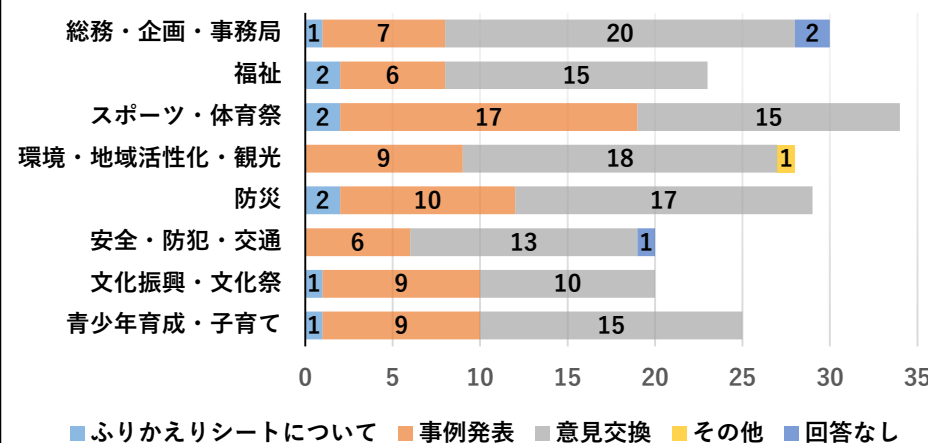
今回の交流会は役に立ちましたか

計151件



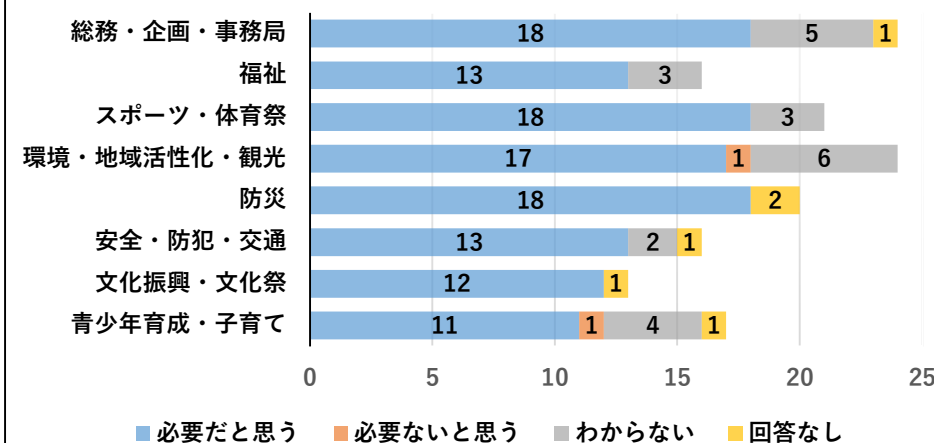
どのような点が良かったですか

計209件



部会長向けの研修は必要だと思いますか

計151件



自由記述において、「今後どのような交流会を希望しますか」という質問に対して、事例発表とグループワークを含めた今回同様の交流会を求める声が多くありました。他の意見として、「成功事例だけでなく、失敗事例も聞きたい」「部会長だけでなく、年齢の若い役員の意見を聞きたい」「近隣地区や組織体制が似た地区と交流を持ちたい」という声も聞こえてきました。「今後、行政からどのような支援を希望しますか」という質問に対しては、予算拡充、イベント時の支援、人材育成、他地区や各課の情報提供に関する意見が多くありました。今回の交流会を通じて、他地区の取組について学び、自分の地区に置き換えて考え、従来の活動を見つめ直す機会になったかと思います。

